

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2019.10.24 No.351

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>



## 国民健康保険制度 都道府県化による問題は明らか 法定外繰入を継続し保険料負担増を止めよ

### 引き上がり続ける保険料

昨年2018年（H30年）4月から始まった国民健康保険制度の都道府県化（財政運営の主体を区市町村から都道府県に移行）による問題が次々と明らかとなっています。

2018年の都道府県化の結果、公的責任が後退し、被保険者への負担が激増しています。

杉並区の歳入では、保険料以外の歳入（国や都からの補助金等）は前年度と比較すると約68億1800万円も減額となっています。

一方、保険料負担が困難な被保険者の保険料収入だけは増加。杉並区の被保険者数は前年度より4000人以上減っているのにも関わらず、保険料の収入済み総額は1億2300万円余増えています（下表参照）。前年度より1人当たり5000円以上の値上げとなっています。

また、保険給付費（使用した医療費）は減少している一方、保険料負担は増加しています。



区議会第三回定例会決算特別委員会の保健福祉分野で質疑。

使った医療費は減っているのに、関係らず、保険料負担が引き上がる結果となったことが浮き彫りとなりました。

杉並区の国保加入者数、保険料等の推移

	加入者数 (年度末)	一人あたりの 保険料	保険料収入済み額	保険給付費額
2017年度	128,936人	124,122円	155億300万円	326億1783万円
2018年度	124,909人	129,288円	156億2600万円	318億9475万円

### 法定外繰入 継続を求め

さらに、杉並区は国と都の圧力に屈し、保険料の値上げを抑えるための法定外繰入の段階的縮小、廃止を進めています。これでは、被保険者の保険料負担を増加させ、生活そのものを困難に追い詰めることは明らかです。

この問題を質すと、区は「持続可能な制度のため必要な改革」と強弁。国や都に追隨する姿勢を示しました。国保制度改革というのであれば、国と都に対し、抜本的な財政負担を求め、区として法定外繰り入れを継続し、保険料の値上げを止め、引き下げを行なうべきです。

### 台風19号災害の救援募金 ご協力をお願いします!

日本共産党は、被災者支援の救援募金を実施しています。お預かりした救援募金は、全額を被災自治体への義援金、被災者救援に充てます。みなさんのご協力をよろしくお願い致します。

【募金送り先/郵便振替】

▼口座番号 00170-9-140321

▼加入者氏名 「日本共産党 災害募金係」

\*通信欄に「台風災害募金」とご記入ください。

\*手数料はご負担願います。

# 屋敷林が激減…阿佐谷けやき屋敷を守るべき

## 屋敷林の減少に 拍車をかける計画

杉並区の屋敷林の減少が深刻ですが、区が進める阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画（以下、同計画）は、屋敷林の減少に拍車をかけることとなります。

杉並区は平成26年に策定した「緑地保全方針」で、屋敷林や農地を杉並の原風景と位置づけ「区民共有の財産」「資産」としています。しかし、この五年間で屋敷林が激減している事態を受けて、「杉並らしいみどりの保全地区」を選定し、保全強化に向けた一定の努力を行ってまいりました。

一方、同計画では、「みどりの顕彰表彰屋敷林」であるけやき屋敷（左写真）を事実上廃止し、高さ40メートルの巨大な病院建設を進めようとしています。



区民共有の資産けやき屋敷

東京都からは、都条例に基づく自然環境調査と保全策の制定が求められ、同地域では絶滅危惧種であるツミや貴重木も確認されています。

本来、杉並区自らが定めた緑地保全方針に基づき、区が屋敷林の保全に責任を負うべきです。一方、区は同計画を進める3者（樺興産株式会社、河北医療財団、杉並区）の一角を担っており、貴重な屋敷林の保全に背を向けています。

区は、党区議団の指摘に対し、同計画が進むことにより、けやき屋敷は「屋敷林」と呼べなくなることも認めました。

## 一度壊せば戻らない 計画の停止・見直しを

一度壊した自然環境は、二度と元に戻りません。同計画に対し、公聴会や原案説明会でも、住民からは多くの反対意見や疑問を呈する声があげられています。みどり保全のための施策と相反する開発行為は許されません。党区議団は住民と共同し、計画の見直しを求めます。

### 今週のコマ

松本善明さん、今までありがとうございました！  
「松本善明さんを偲ぶ会」司会を務めました

2019年6月24日、松本善明さんが亡くなりました。享年93歳でした。松本善明さんは、衆議院旧東京4区（渋谷・中野・杉並）などの選出で、33年に亘って日本共産党の衆議院議員として活動してきました。杉並とは大変関係の深い方で、今も地域を回ると松本善明さんの話になります。私自身も子どものころから後援会旅行に参加したり、善明さんの引越しを手伝ったりと（この時に頂いた善明さんのダンスや書籍を愛用しています）関係の深い方です。

10月22日には、善明さんを偲ぶ会が開かれ、私が司会を務めました。善明さんは、人のために力を尽くし、平和な世の中を目指して頑張り続けてきた方です。善明さんの遺志をしっかりと引き継ぎ、今後も頑張ります。



米寿の会に引き続き、司会を務めました。  
2014年赤旗まつりにて（右）

